

川越市観光アンケート調査

報告書

平成17年(2005年)

平成18年3月

川越市

目次

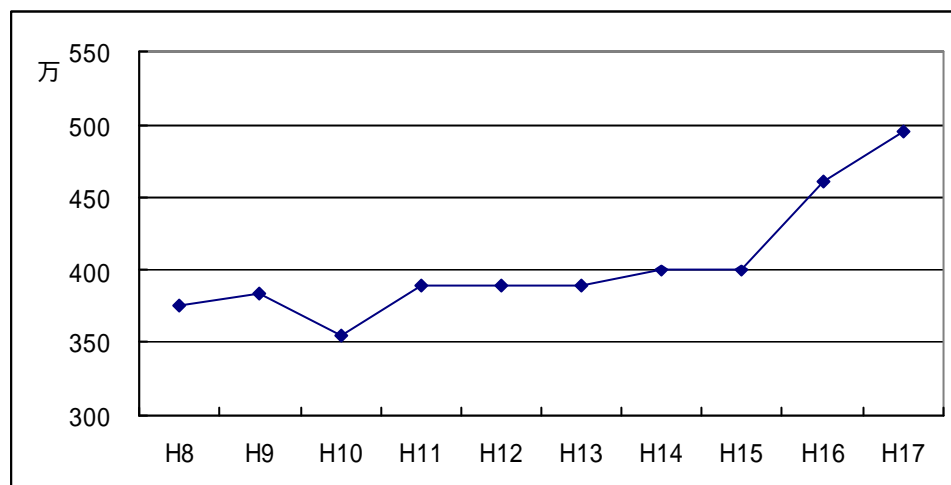
| | |
|-------------------|----|
| 1.平成17年入込観光客の概要 | 3 |
| 2.観光アンケート調査の統計・分析 | 4 |
| 2-1.観光アンケート調査の趣旨 | 4 |
| 2-2.観光アンケート調査の方法 | 4 |
| 2-3.観光アンケート調査の結果 | 6 |
| 2-3-1.出発地調 | 6 |
| 2-3-2.性別調 | 8 |
| 2-3-3.年齢調 | 8 |
| 2-3-4.同行者調 | 9 |
| 2-3-5.交通手段調 | 10 |
| 2-3-6.滞在期間調 | 10 |
| 2-3-7.旅行目的調 | 12 |
| 2-3-8.川越認知方法調 | 12 |
| 2-3-9.来訪回数調 | 13 |
| 2-3-10.観光時間調 | 13 |
| 2-3-11.立ち寄り観光地調 | 14 |
| 2-3-12.交通費調 | 15 |
| 2-3-13.宿泊費調 | 16 |
| 2-3-14.飲食費調 | 17 |
| 2-3-15.入館料・入場料調 | 18 |
| 2-3-16.お土産購入費調 | 19 |
| 2-3-17.お土産購入品調 | 20 |
| 2-3-18.景観・雰囲気満足度調 | 21 |
| 2-3-19.人々の対応満足度調 | 21 |
| 2-3-20.全体の満足度調 | 22 |
| 2-3-21.再訪意識調 | 22 |
| 2-3-22.要望調 | 23 |
| 2-3-23.意見・感想調 | 24 |
| 3.観光消費額から見る経済効果 | 25 |

1.平成 17年入込観光客の概要

平成 17年に川越を訪れた観光客数は、494万8千人であった。
前年に比べ、33万5千人の増加となり、伸び率は7.3%であった。

また、10年前（平成8年）に比べ、約120万人増加しており、平成17年までの10年間の平均伸び率は3.7%である。（図1）

（図1）過去10年の入込観光客数

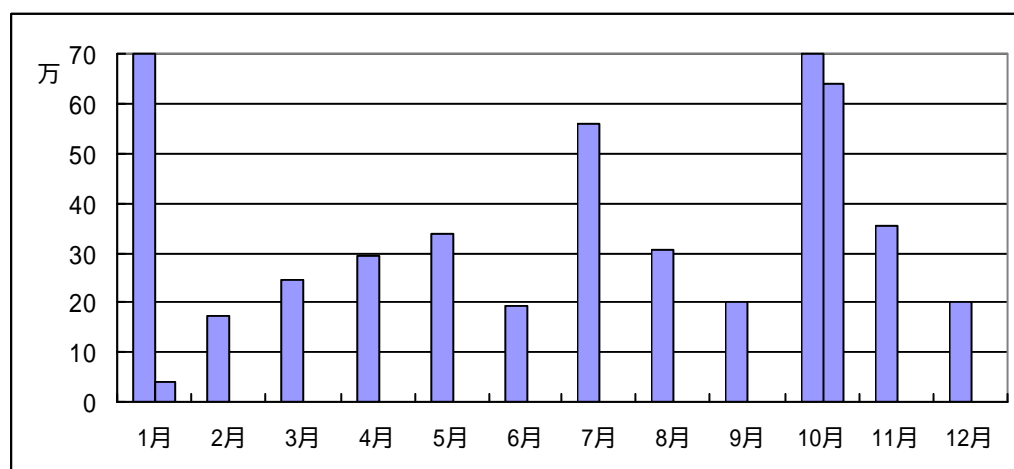


平成10年は、川越まつりが両日とも雨による天候不順の影響を受けて15万人減となるなど、大幅な減となった。

平成16年は、喜多院の初詣、川越まつりの入込観光客が増加したこと、また、家光公生誕400年記念事業などの効果が現れ、大幅な増加となった。

月別に見ると、喜多院・氷川神社などの初詣参拝客で賑わう1月と、川越まつりの行われる10月の観光客数が多い。（図2）

（図2）月別観光客数（平成17年）



2.観光アンケート調査の統計・分析

2-1.観光アンケート調査の趣旨

平成17年の入込観光客数は494万8千人であったが、その観光客の特性を把握・分析し、川越市の観光施策に反映させていくことは重要である。

そこで、観光客に対する聞き取り調査を行い、その結果を基に観光客の出発地、アクセス方法、立ち寄り先、観光消費額など、基本的な動態を整理することとした。

2-2.観光アンケート調査の方法

本市では、平成16年3月8日～3月21日にかけて、観光アンケート調査（聞き取り数3,273件）を実施している。

今回は、より統計の精度を高め、平成17年の年間統計として把握するために、平成17年1月3日から12月22日までの1年間を調査期間とし、主要観光地点6箇所において、各地点を通過する観光客に対して、聞き取りによる計9,924件の観光アンケート調査を実施した。

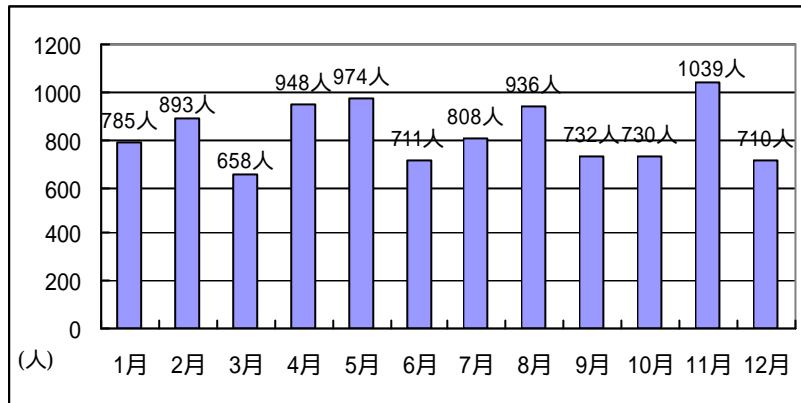
アンケート調査地点と、各地点の聞き取り件数は表1のとおりである。

(表1)アンケート調査地点と聞き取り件数

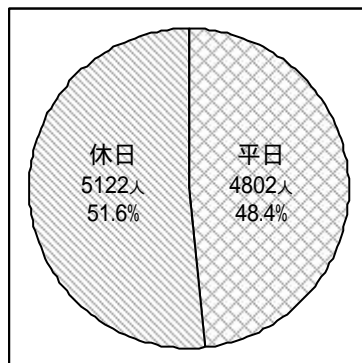
| 番号 | 調査地点 | 聞き取り件数 |
|----|-------------|--------|
| 1 | 喜多院 | 1,934件 |
| 2 | 時の鐘 | 2,783件 |
| 3 | 菓子屋横丁 | 2,825件 |
| 4 | 川越市立博物館・美術館 | 1,421件 |
| 5 | 氷川神社 | 478件 |
| 6 | 伊佐沼公園 | 483件 |
| | 計 | 9,924件 |

また、月ごとや、平日か休日によって観光客数や動態に変化が出るものだが、偏りが出ないように聞き取り調査を行った。(図3と図4)

(図3) アンケート調査聞き取り件数の月別内訳



(図4) アンケート調査日の平日・休日別内訳



(参考) 実際に使用した観光アンケート調査用紙

川越市観光アンケート調査票

小江戸川越へようこそおいでくださいました。
川越市では、よりよい観光地づくりの基礎資料とするため、来訪者へ簡単なアンケート調査をお願いしています。お急ぎのところ誠に恐縮ですが、皆様のお声をお聞かせ願えれば幸いです。

川越市観光課

1 住まい (郵便番号又は都道府県名)、性別、年齢をお教えてください。(国外の方は国名)
郵便番号又は都道府県名 () (国外の方は国名)
性別 男性 女性
年齢 10歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳以上

2 どなたにいらっしゃいましたか。(ひとっだけ)
①ひとり ②夫婦 ③子供連れ家族 ④その他家族(両親や兄弟など)
⑤友人知人 ⑥仕事仲間 ⑦地域の団体 ⑧学校の団体 ⑨その他

3 川越までの主な交通手段についてお聞かせください。(ひとっだけ)
①JR線 ②東武線 ③西武線 ④路線バス・タクシー ⑤観光バス
⑥自家用車 ⑦バイク・自転車 ⑧徒歩

4 川越へ滞在される(された)期間をお聞かせください。
()泊 (日帰りの方はは地元の方は、×をつけてください。)

5 今回のご旅行の主な目的は何ですか。(ひとっだけ)
①調査旅行(観光地巡り) ②祭りやイベントへの参加 ③保養休養
④スポーツ ⑤業務 ⑥納税や観光訪問
⑦その他

6 川越をどのようにしてお知りになりましたか。(複数回答可。なお、地元の方は、回答不要です。)
①テレビ・ラジオ ②新聞・雑誌 ③ポスター・パンフレット
④知人などに勧められて ⑤旅行会社のツアー ⑥インターネット
⑦その他

7 川越にはこれが何回目のご旅行ですか。
今回を含めて ()回目 (地元の方は、×をつけてください。)

8 川越での観光時間はどのくらいですか。(ひとっだけ)
①1時間程度 ②2時間程度 ③3時間程度 ④半日 ⑤1日
⑥1日以上

9 川越のどこを観光されましたか。(複数回答可)
①蔵の町並み ②薬師資料館 ③時の鐘 ④菓子屋横丁
⑤川越まつり会館 ⑥市立博物館 ⑦市立美術館
⑧川越城本丸御殿 ⑨喜多院 ⑩成田山原院 ⑪康壽寺
⑫水戸神社 ⑬伊佐沼・伊佐沼公園
⑭その他

10 川越市内において、一人あたりいくらか使われました(ました)か。(乳幼児分を除きます。)
①交通費(バス・タクシー代) ()円 (タクシーを複数人でご利用の場合は、人数で割り、一人あたりとしてください。)
②宿泊費 ()円
③飲食費 ()円
④入館料・入場料 ()円
⑤お土産品購入費 ()円

※お土産を購入される(された)方へよろしければ、ご購入される(された)お土産品をお聞かせください。(複数回答可)
①おもちゃ ②和菓子 ③駅高子(梅・桔葉子・文津など)
④せんべい ⑤もちみ饅・餅油 ⑥うどん・そば ⑦奥山蕎麦
⑧アルコール飲料(酒・ワイン・ビールなど) ⑨民芸品
⑩絵巻物・鉄道カードなど ⑪観光CD・ビデオなど
⑫その他

11 川越の景観や雰囲気は良いと思いますが、
①とても良い ②良い ③普通 ④あまり良くない ⑤悪い

12 川越の人々の対応はいいのですが、
①とても良い ②良い ③普通 ④あまり良くない ⑤悪い

13 川越を訪れてどのくらい満足しましたか。
①満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

14 また川越を訪れたいと思いますか。(地元の方は、回答不要です。)
①はい ②いいえ

15 川越に対しての要望についてお聞かせください。(複数回答可)
①交通の安全性の向上 ②駐車場の整備 ③観光スポットの充実
④無料休憩所・トイレの整備 ⑤観光案内板等の整備 ⑥公園の整備
⑦観光パンフレット・ガイドの充実 ⑧障害者への配慮
⑨レンタサイクルの導入
⑩その他

16 その他川越についてご意見、ご感想などご記入ください。

※ご協力ありがとうございました。(ご記入後は調査員にお渡しください。)

2 - 3 .観光アンケート調査の結果

2 - 3 - 1 .出発地調

アンケート回答者総数 9 , 9 2 4 人のうち、9 , 8 3 2 人が国内から出発、9 2 人が国外から出発していた。

出発地の分析を、国内と国外とに分けて行う。

(1) 国 内

川越を訪れた約 9 割の観光客が関東地方の各都県から出発しており、首都圏から約 1 時間で訪れることの出来る立地特性を活かした結果となった。(図 5)

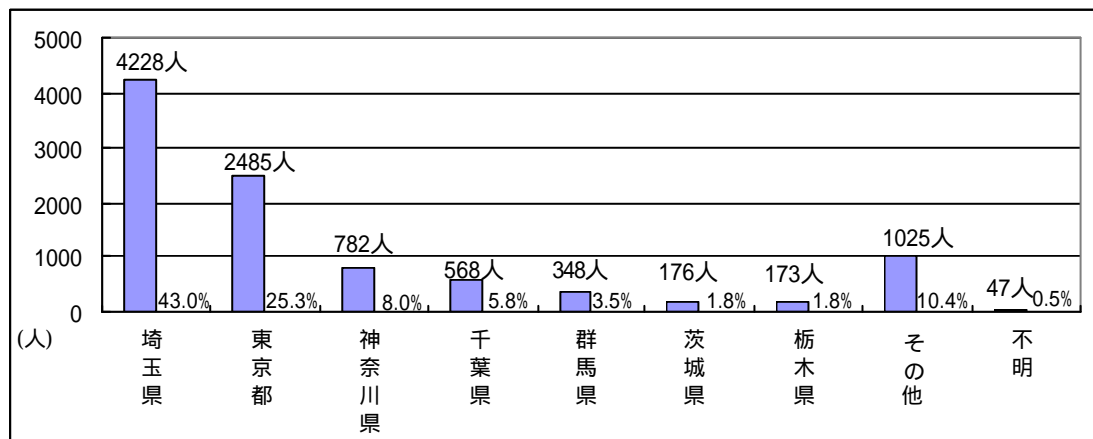
その中でも、埼玉県(43%)、東京都(約25%)から出発した観光客が多くを占めた。

関東地方以外では、東北地方(241人、2.5%)と東海地方(231人、2.3%)から出発した観光客が多かった。(表 2)

都道府県別に見ると、静岡県(162人、1.6%)、福島県(116人、1.2%)、遠方ながらも北海道(74人、0.8%)から出発した観光客が多かった。

また、観光客の出発地が 0 件であった都道府県は一つもなく、全国から川越へ観光客が訪れていた。

(図 5) 出発地



(表2) 地方・都道府県別出発地

| 地方 | 回答者数 | 都道府県(上位順に表記) カッコ内は人数 |
|---------|--------|---|
| 関東地方 | 8,834人 | 埼玉県(4,228),東京都(2,485),神奈川県(782),千葉県(568),群馬県(348),茨城県(176),栃木県(173),山梨県(74) |
| 東北地方 | 241人 | 福島県(116),宮城県(47),青森県(28),岩手県(18),秋田県(17),山形県(15) |
| 東海地方 | 231人 | 静岡県(162),愛知県(52),三重県(11),岐阜県(6) |
| 北陸・信越地方 | 141人 | 長野県(66),新潟県(55),富山県(11),石川県(7),福井県(2) |
| 近畿地方 | 113人 | 大阪府(40),兵庫県(32),奈良県(17),京都府(16),和歌山県(4),滋賀県(4) |
| 九州・沖縄地方 | 83人 | 福岡県(30),鹿児島県(14),宮崎県(8),沖縄県(8),大分県(7),熊本県(7),佐賀県(6),長崎県(3) |
| 北海道 | 74人 | 北海道(74) |
| 中国地方 | 40人 | 広島県(15),山口県(12),岡山県(8),鳥取県(3),島根県(2) |
| 四国地方 | 28人 | 愛媛県(17),高知県(5),徳島県(3),香川県(3) |
| 不明 | 47人 | |
| 計 | 9,832人 | |

各都道府県の地方区分は、日本郵政社発行の郵便番号簿の地方区分に従った。

(2) 国 外

国外から出発した観光客は92人であり、中国(28人)とアメリカ合衆国(20人)が多かった。(表3)

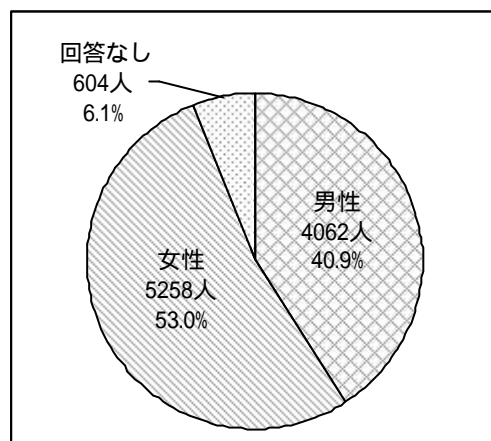
(表3) 国別出発地

| 国名 | 回答者数 |
|--|------|
| 中国 | 28人 |
| アメリカ合衆国 | 20人 |
| 韓国 | 6人 |
| フランス、オーストラリア | 各5人 |
| ドイツ | 4人 |
| マレーシア、フィリピン、カナダ、ベルギー、トルコ、スペイン | 各2人 |
| シンガポール、タイ、ラオス、スリランカ、ロシア、ベネズエラ、スイス、イギリス、デンマーク、ウクライナ、ブラジル、不明 | 各1人 |
| 計 | 92人 |

2-3-2.性別調

性別は、女性の方が53%と多かった。(図6)

(図6) 性別

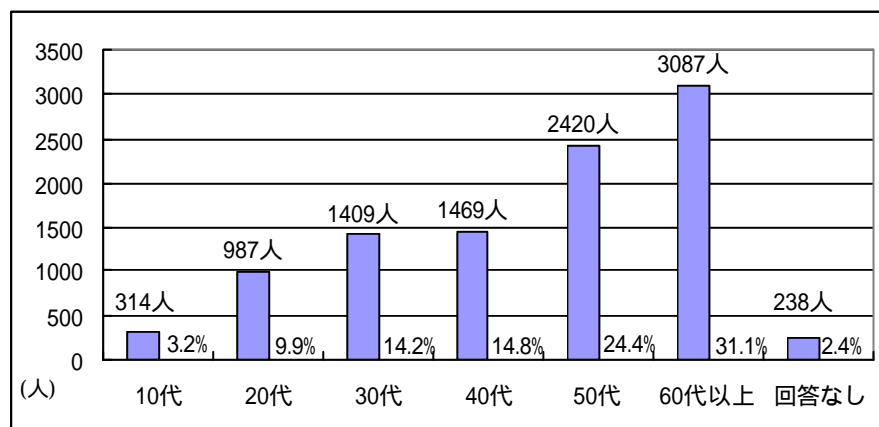


2-3-3.年齢調

年代の上昇に比例して、観光客数も上昇した。

平成16年の観光アンケートより、観光客の年齢層は50歳代以上が多い(約62%)ことを把握していたが、今回も同様となり(約55%)、中高年層を中心とした観光客が川越を訪れていた。(図7)

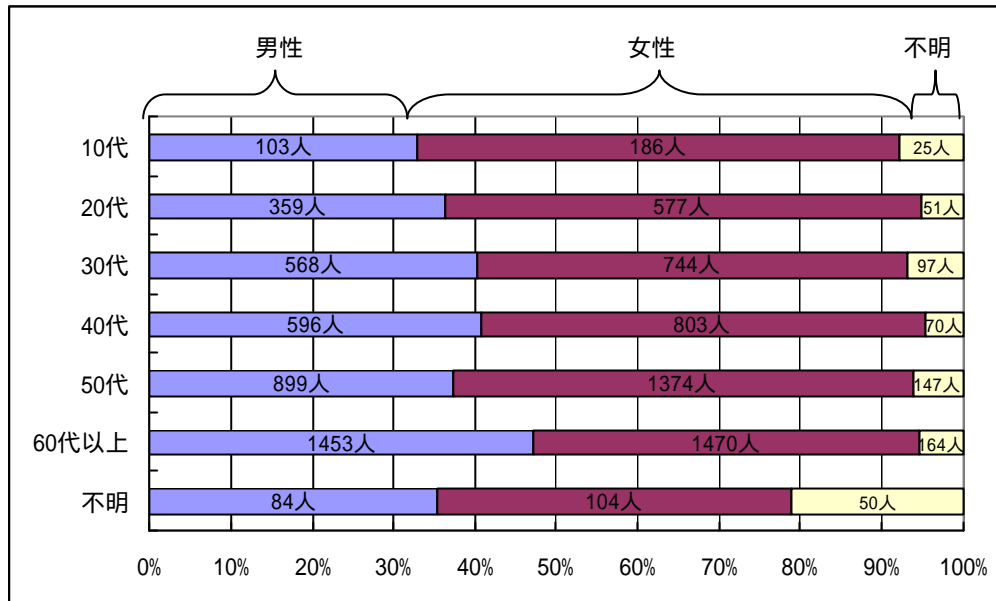
(図7) 年齢



観光客の年代別における性別の割合を見ると、ほぼ全ての年代で女性の方が多かったが、60歳代以上のみ、男性と女性の比率がほぼ同数であった。(図8)

定年後で余暇時間のある男性が川越へ多く訪れていると推測できる。

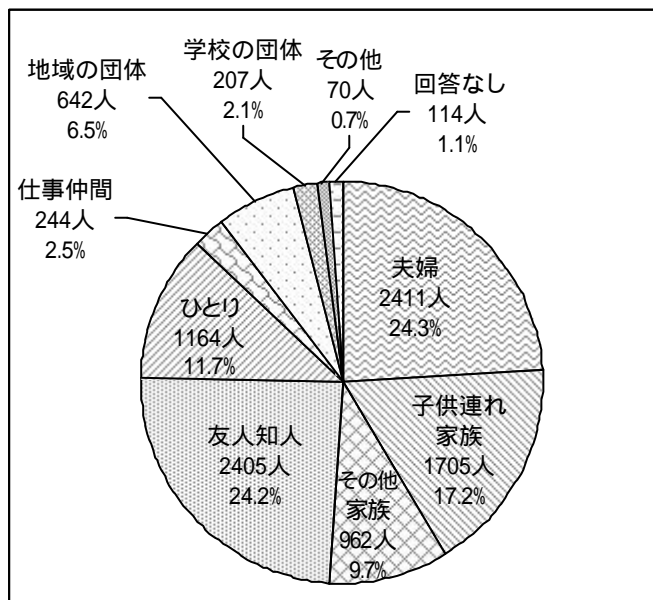
(図 8) 年代別における性別の割合



2 - 3 - 4 .同行者調

夫婦、子供連れ家族、その他家族など、家族関係者と複数人で川越を訪れている観光客が多く、ほぼ半数（約51%）を占めた。（図9）

(図 9) 観光客の同行者

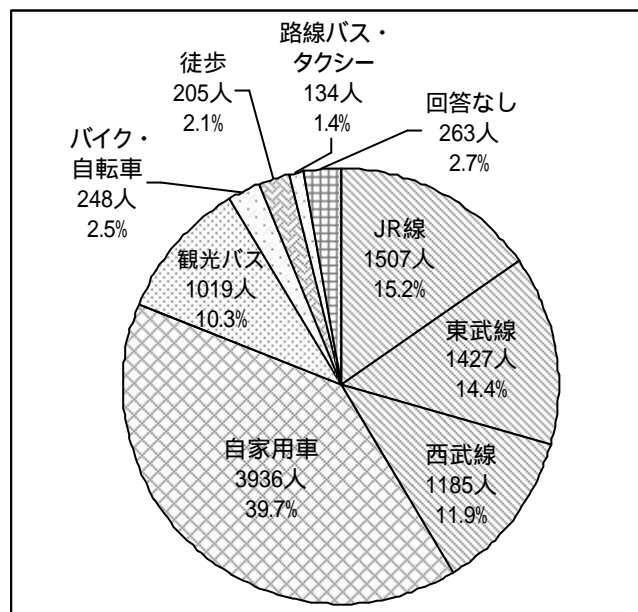


2-3-5.交通手段調

主要3路線（JR、東武東上線、西武新宿線）の「電車」を利用して川越を訪問した観光客（約42%）と、自家用車で川越を訪問した観光客（約40%）はほぼ同数であり、この2つによる交通手段が多くを占めた。（図10）

また、観光バスで訪問している観光客は約10%であり、観光客総数（個人客と団体客の合計）における団体客率は10%と推定できる。

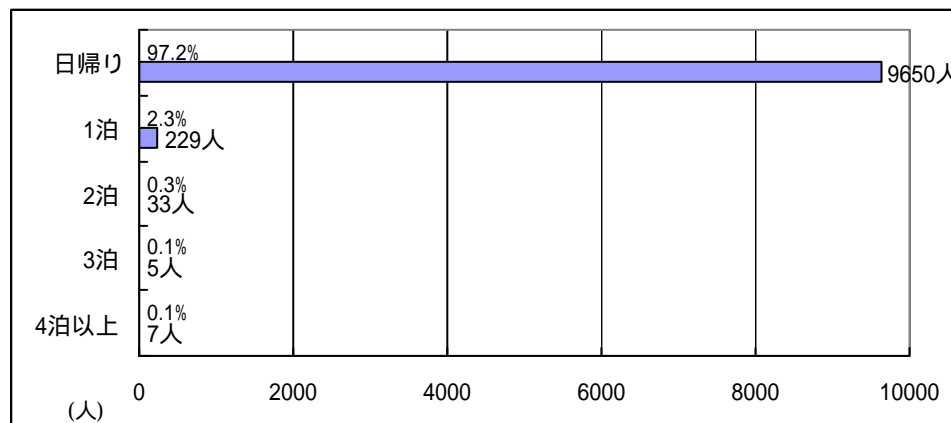
（図10）交通手段



2-3-6.滞在期間調

市内での滞在期間は、「日帰り」が約97%、1泊以上の「宿泊」が約3%であった。（図11）

（図11）滞在期間



また、「宿泊する」と回答した274名の観光客の出発地は、表4のとおりである。

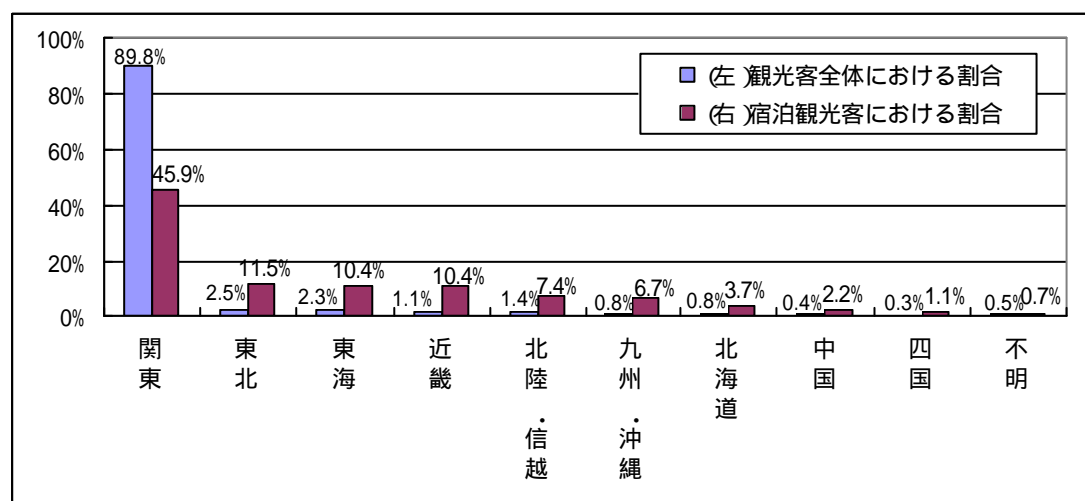
(表4) 「宿泊する」と回答した観光客の地方・都道府県別出発地

| 地方 | 回答者数 | 都道府県(上位順に表記) カッコ内は人数 |
|---------|------|--|
| 関東地方 | 124人 | 東京都(43),埼玉県(24),千葉県(23),神奈川県(17),群馬県(6),山梨県(5),茨城県(4),栃木県(2) |
| 東北地方 | 31人 | 福島県(10),宮城県(9),岩手県(5),青森県(3),秋田県(2),山形県(2) |
| 東海地方 | 28人 | 静岡県(12),愛知県(11),三重県(4),岐阜県(1) |
| 近畿地方 | 28人 | 兵庫県(10),京都府(7),大阪府(4),奈良県(4),和歌山県(2),滋賀県(1) |
| 北陸・信越地方 | 20人 | 新潟県(7),長野県(6),石川県(4),富山県(3),福井県(0) |
| 九州・沖縄地方 | 18人 | 福岡県(5),大分県(3),宮崎県(3),沖縄県(3),熊本県(2),佐賀県(1),鹿児島県(1),長崎県(0) |
| 北海道 | 10人 | 北海道(10) |
| 中国地方 | 6人 | 岡山県(3),鳥取県(1),広島県(1),山口県(1),島根県(0) |
| 四国地方 | 3人 | 徳島県(1),高知県(1),愛媛県(1),香川県(0) |
| 国外 | 4人 | アメリカ合衆国(2),シンガポール(1),韓国(1) |
| 不明 | 2人 | |
| 計 | 274人 | |

各都道府県の地方区分は、日本郵政社発行の郵便番号簿の地方区分に従った。

観光アンケート調査回答者総数(9,924人)のうち、関東地方の各都県から訪れた観光客は約90%であったが、「宿泊する」と回答した観光客のうち、関東地方の各都県から訪れた観光客は46%となり、「宿泊する」のは遠方から訪れて来る観光客の比率が高かった。(図12)

(図12) 観光客全体の出発地と「宿泊する」と回答した観光客の出発地の地方別割合

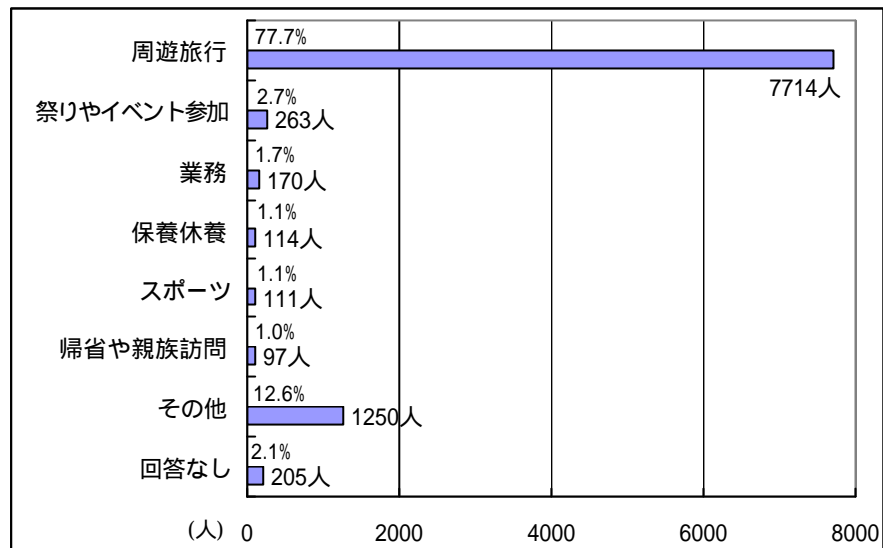


観光客全体、宿泊観光客におけるそれぞれの割合について、国外が出発地の観光客は除いた。

2-3-7.旅行目的調

旅行目的は、「周遊旅行」が約78%を占めた。(図13)

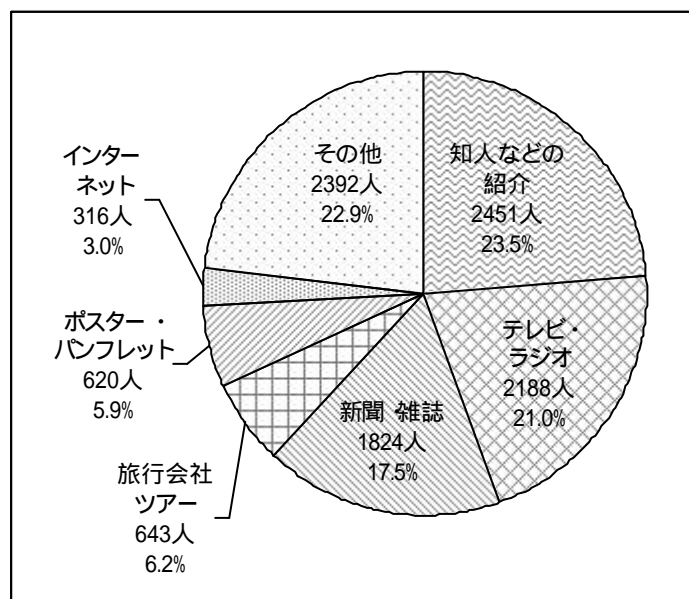
(図13) 旅行目的



2-3-8.川越認知方法調

川越を知った方法は、「知人などの紹介」が約24%と最も多かった。(図14)
また、「テレビ・ラジオ」、「新聞・雑誌」など、メディアを通じて川越を知った観光客(2つ合わせて約39%)も多かった。

(図14) 川越を知った方法



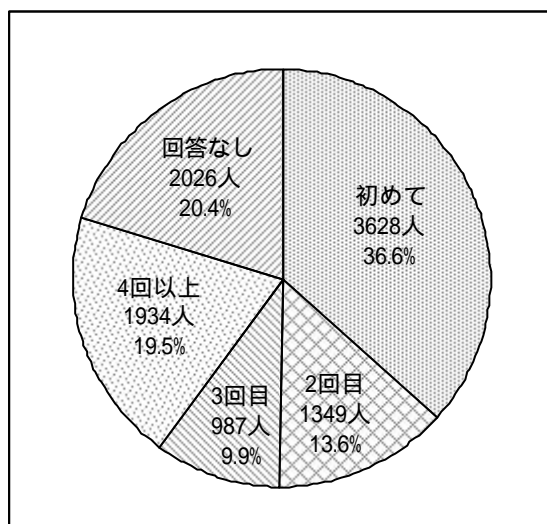
回答者一人につき、複数回答あり

2-3-9.来訪回数調

川越を「初めて」訪れた観光客が37%、「2回以上」訪れているリピーターの観光客が43%であった。(図15)

また、「回答なし」を除いた7,898人の川越への平均来訪回数は3.6回であった。

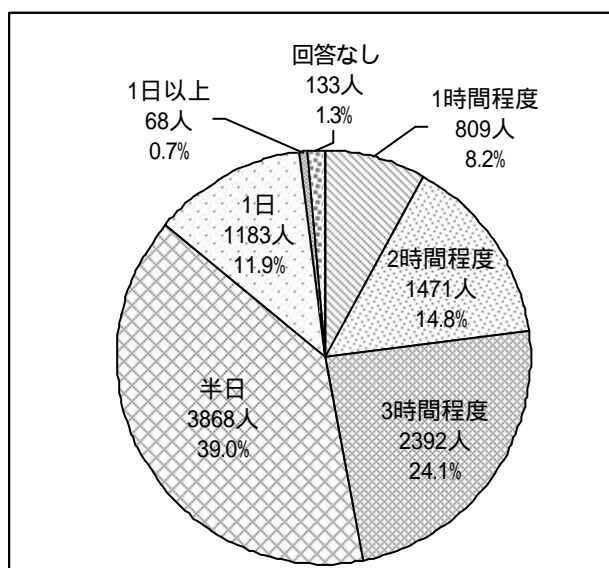
(図15)川越への来訪回数



2-3-10.観光時間調

川越は日帰り観光が主力となっているため(図11参照)、観光時間も3時間程度~半日が約63%を占める結果となった。(図16)

(図16)観光時間

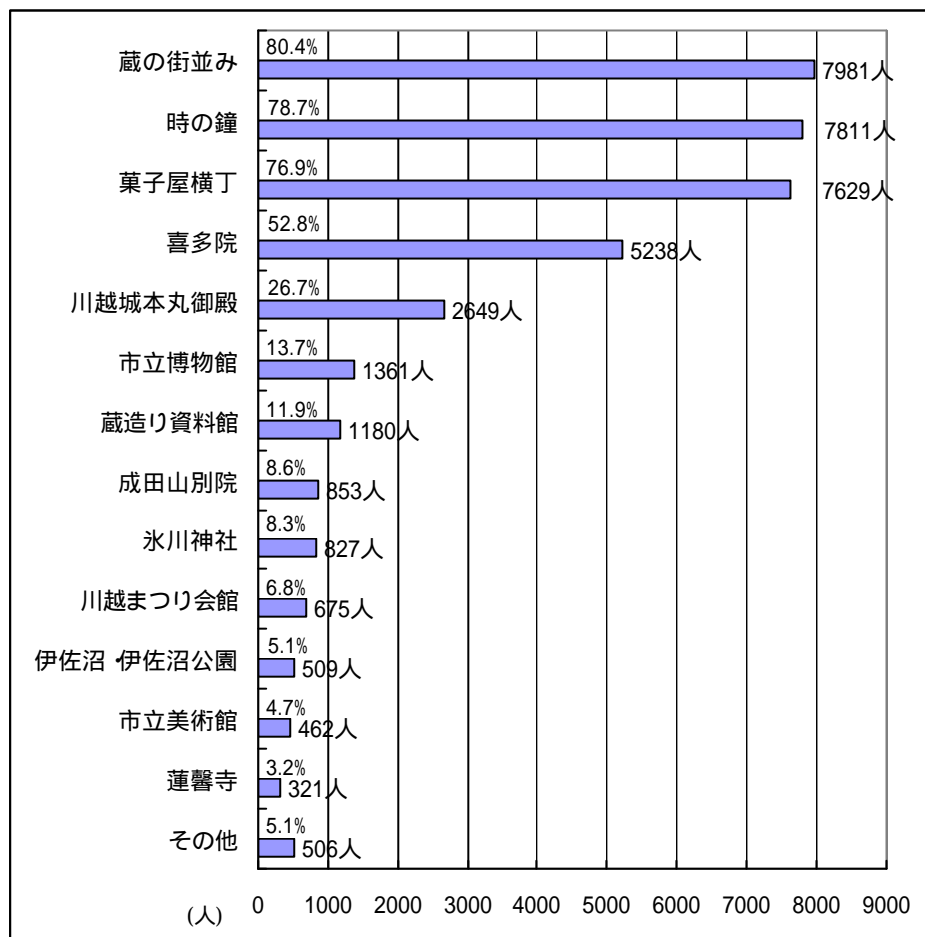


2-3-11.立ち寄り観光地調

立ち寄り観光地は、蔵の街並み、時の鐘、菓子屋横丁と、同エリアに存在する3地点が上位を占め、観光客の約8割がそれぞれの地点を訪れていた。(図17)

また、観光客一人につき、平均3.8箇所の観光地を訪れていた。

(図17)立ち寄り観光地



回答者1人につき、複数回答あり

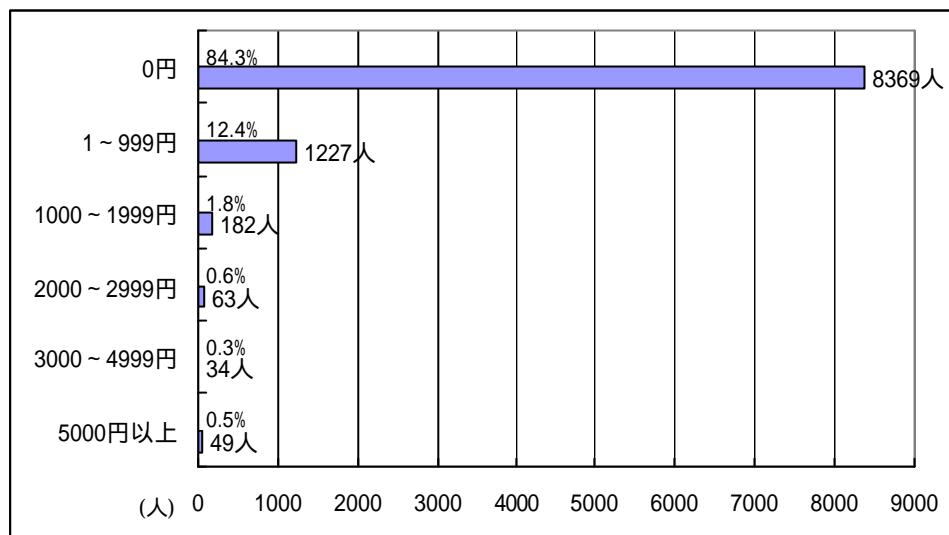
割合(%)は、それぞれの項目を回答した人数を、回答者総数(9,924人)で割ったもの

2-3-12.交通費調

市内における交通費は「支出なし」と回答した観光客が8,369人(約84%)と、多くを占めた。(図18)

「支出あり」と回答した観光客は1,555人(約16%)いたが、その多くが1,000円未満の交通費であった。「支出あり」と回答した観光客の約79%)
また、1人あたりの平均交通費は1,094円であった。

(図18) 交通費



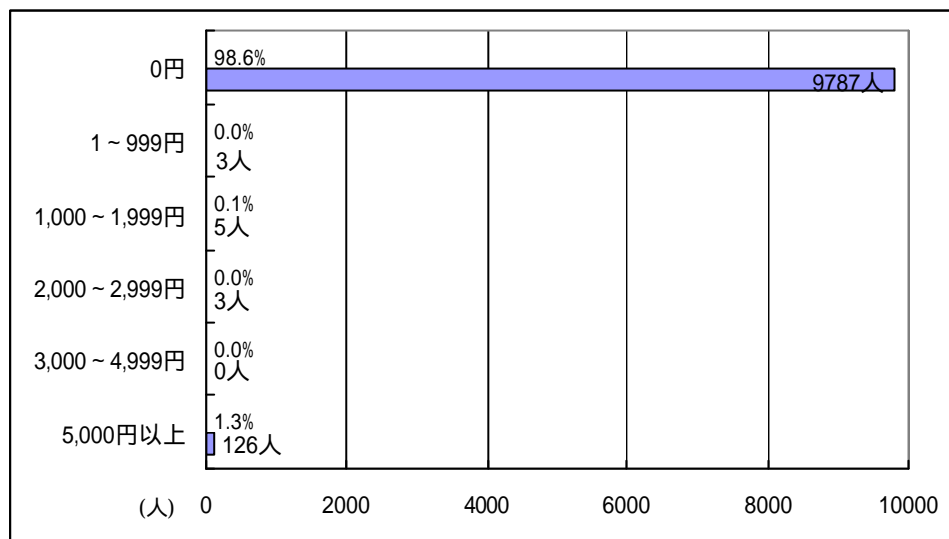
2-3-13. 宿泊費調

滞在期間について、市内に「宿泊する」と回答した観光客は274人（約3%）であったが（図11参照）、宿泊費を支出するうえで「宿泊する」観光客は137人（約1%）であった。（図19）

また、1人あたりの平均宿泊費は10,855円であった。

これは、観光する際に消費する一般的な項目（交通費、宿泊費、飲食費、入館料・入場料、お土産購入費）の中で最も高い平均消費額であったが、最も低い消費活動率であった。

（図19）宿泊費



2-3-14. 飲食費調

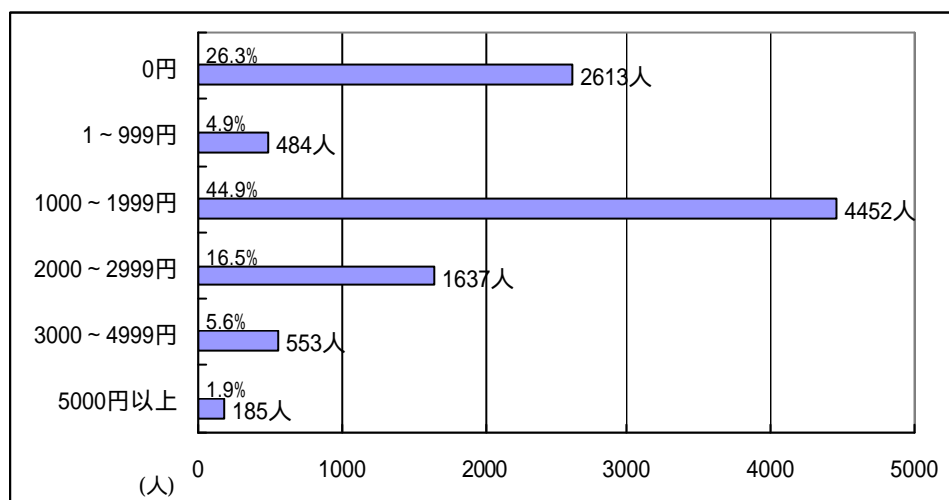
市内における飲食費は「支出なし」と回答した観光客が約26%、「支出あり」と回答した観光客が約74%であった。(図20)

これは、観光する際に消費する一般的な項目(交通費、宿泊費、飲食費、入館料・入場料、お土産購入費)の中で、最も高い消費活動率であった。

「支出あり」と回答した観光客のうち、「1,000円台」が4,452人(約45%)と多くを占めた。(「支出あり」と回答した観光客の約61%)

また、1人あたりの平均飲食費は1,596円であった。

(図20) 飲食費



2-3-15.入館料・入場料調

市内における入館料・入場料は「支出なし」と回答した観光客が約70%、「支出あり」と回答した観光客が約30%であった。(図21)

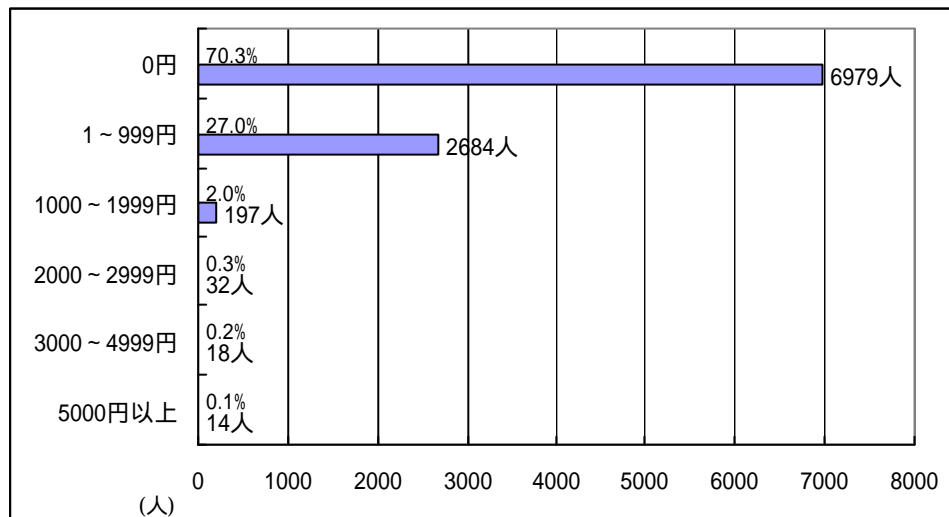
「支出あり」と回答した観光客2,945人のうち、「1,000円未満」が2,684人と、ほぼ全てを占めた。(「支出あり」と回答した観光客の約95%)

また、1人あたりの平均入館料・入場料は531円であった。

これは、観光する際に一般的に消費する5項目(交通費、宿泊費、飲食費、入館料・入場料、お土産購入費)の中で、最も低い平均消費額であった。

入館料・入場料を支払う場合でも、平均的に1~2つの施設に入場する程度と推測できる。

(図21)入館料・入場料



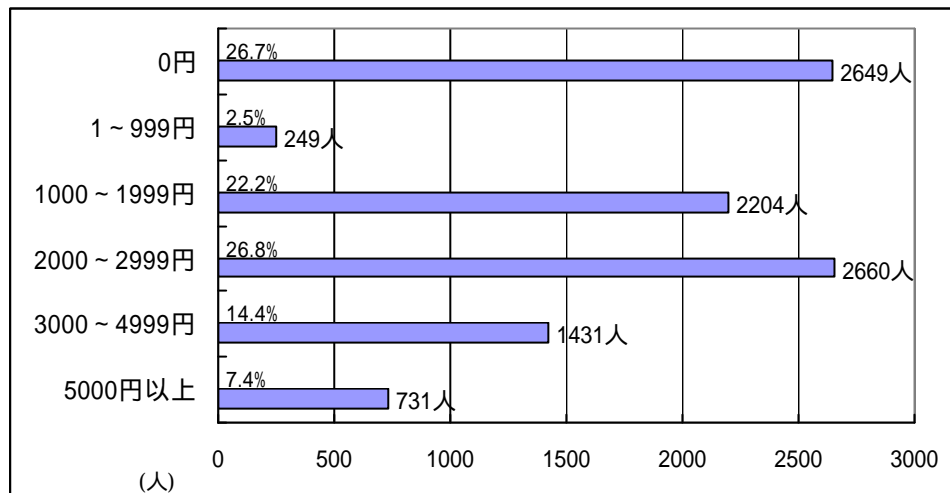
2-3-16.お土産購入費調

市内においてお土産を「購入しない」と回答した観光客が約27%、「購入する」と回答した観光客が約73%であった。(図22)

また、1人あたりの平均お土産購入費は2,438円であった。

これは、「日帰り」で観光する際、一般的に消費する4項目(交通費、飲食費、入館料・入場料、お土産購入費)の中で最も高い平均消費額であった。

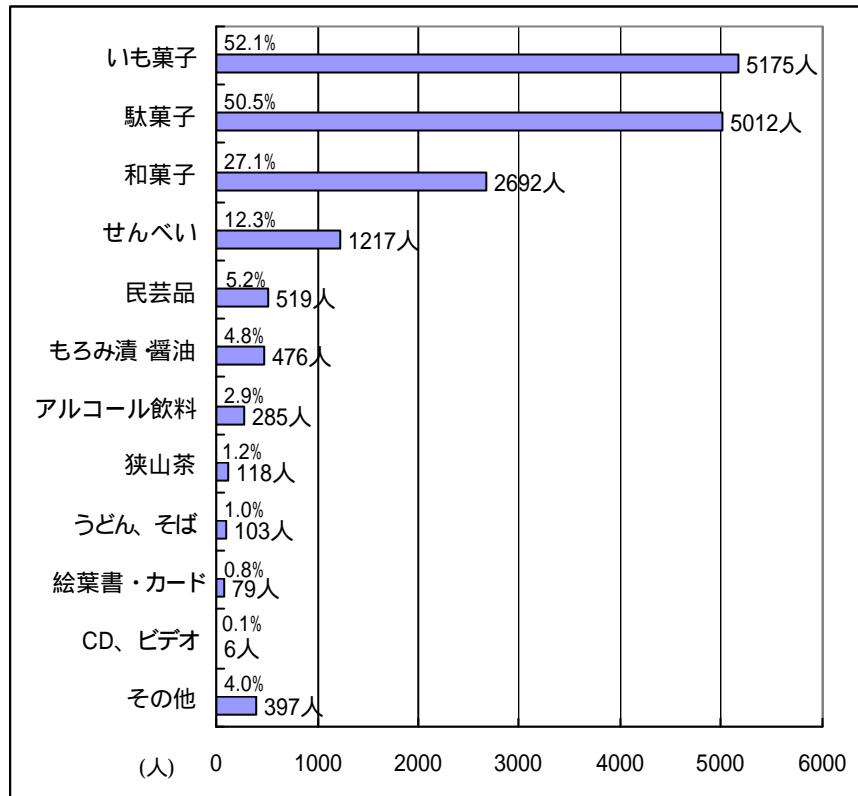
(図22) お土産購入費



2-3-17.お土産購入品調

いも菓子については、以前より川越名物として広く認知されており、また、駄菓子についても主要観光地である菓子屋横丁などにおいて販売されているため、両者共に約半数の観光客がお土産品として購入していた。(図23)

(図23)お土産購入品



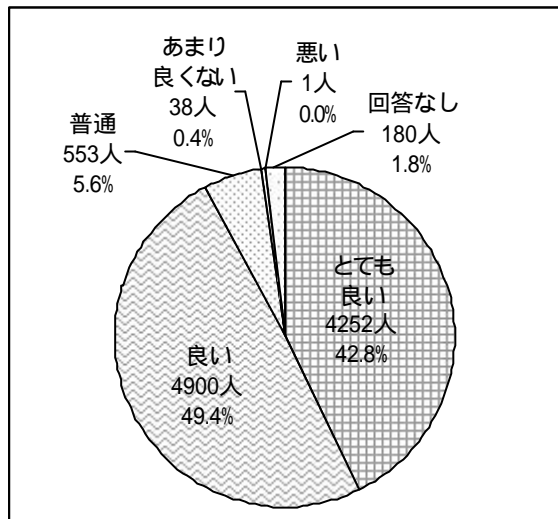
回答者1人につき、複数回答あり

割合(%)は、それぞれの項目を回答した人数を、回答者総数(9,924人)で割ったもの

2-3-18. 景観・雰囲気満足度調

川越の景観・雰囲気は、「よい」と回答した観光客が約92%を占めた。
(図24)

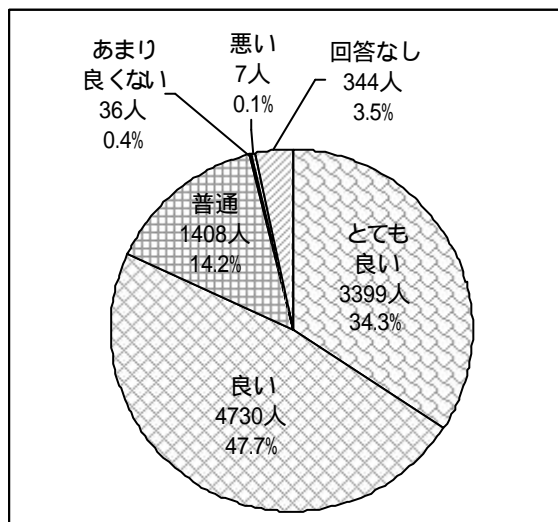
(図24) 景観・雰囲気満足度



2-3-19. 人々の対応満足度調

川越の人々の対応は、「よい」と回答した観光客が82%を占めた。(図25)

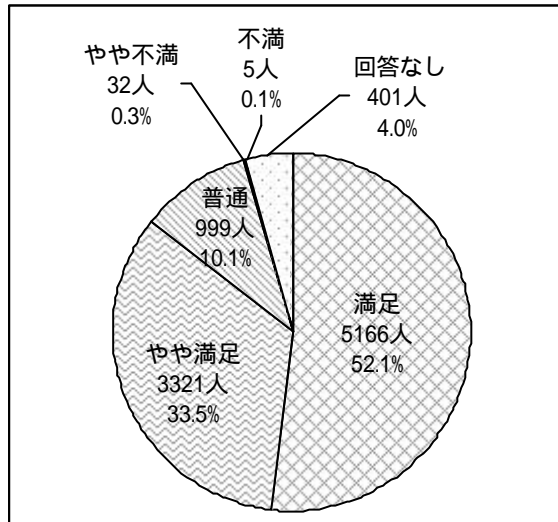
(図25) 人々の対応満足度



2-3-20.全体の満足度調

川越の全体の満足度は、「満足」と回答した観光客が約86%を占めた。
(図26)

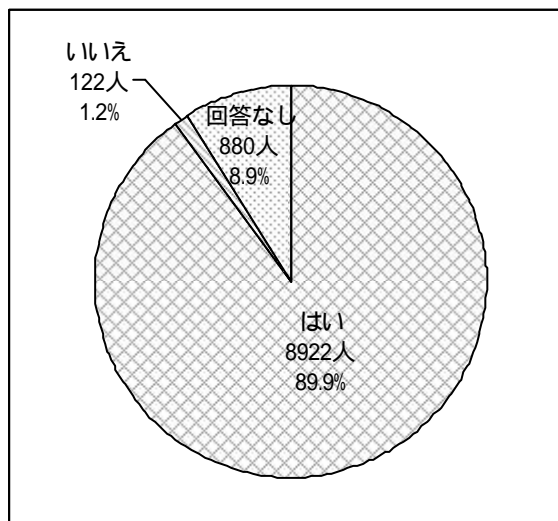
(図26)全体の満足度



2-3-21.再訪意識調

景観・雰囲気、人々の対応、全体、それぞれの満足度が高かったこともあり、川越への再訪意識についても「はい」と回答した観光客が約91%を占めた。
(図27)

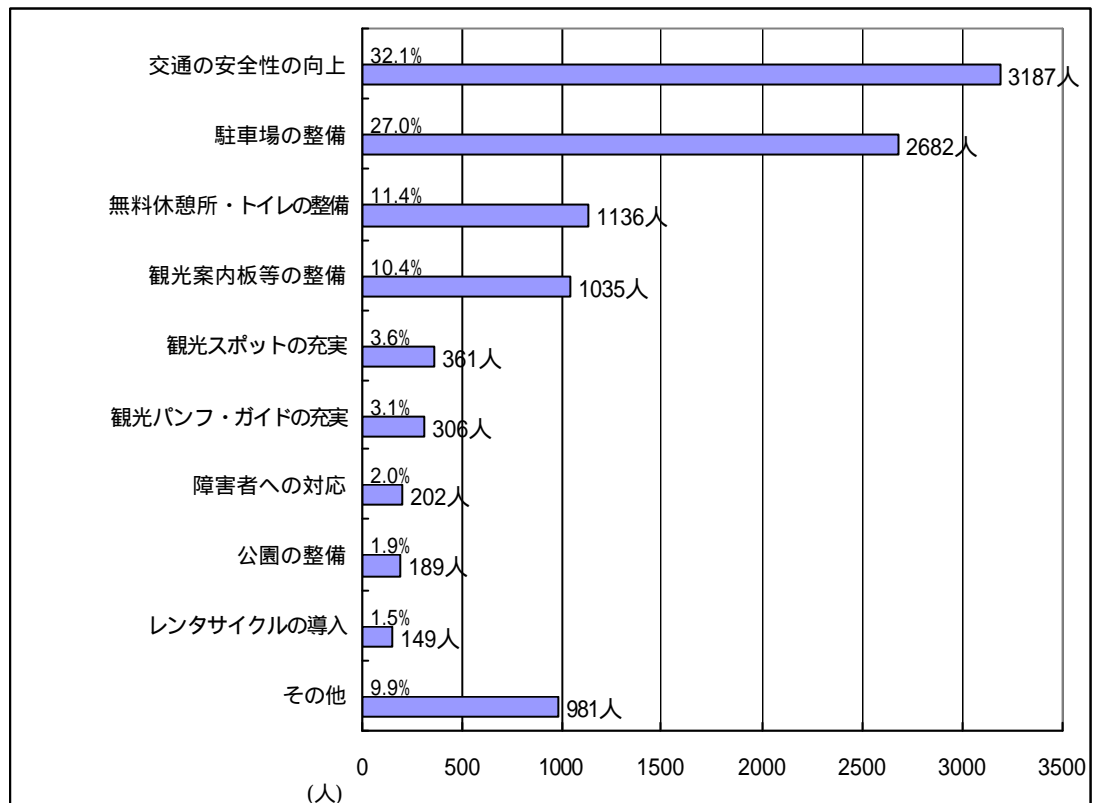
(図27)また川越を訪ねたいと思うか



2-3-22.要望調

蔵の街並み周辺で車道脇を歩く観光客が、すぐ脇を走る自動車などに対して危険を感じることから生じてくる「交通安全性の向上」、中心市街地周辺における駐車場供給量の少なさから生じてくる「駐車場の整備」といった、かねてから川越市の観光施策で課題となっている点が、観光客からの要望としても上位に取り上げられていた。(図28)

(図28) 要望



回答者1人につき、複数回答あり

割合(%)は、それぞれの項目を回答した人数を、回答者総数(9,924人)で割ったもの

2-3-23.意見・感想調

観光アンケート調査の最後の質問で、川越についての意見・感想を記入形式で書いていただいた。(表5)

(表5) 川越についての意見・感想

- ・ 静かな街のたたずまいがよい
- ・ 同じ埼玉県民として誇りに思う、街の保存、維持を続けてください
- ・ 川越まつりに是非来たい
- ・ 平日のほうゆっくり見ることができる
- ・ 歴史のある街で大好きです
- ・ 時の鐘の音が心に響いた
- ・ とても気持ちのよいところで気に入りました
- ・ 大好きですよこの街
- ・ 親切な人が多い
- ・ 今度は家族と一緒に来たいと思う
- ・ 近くにこんないい街があるなんて発見です！
- ・ 時間をかけてゆっくり1日歩いてみたい街です
- ・ 大満足でした。また来ます
- ・ 何度来てもいい街だと思う
- ・ 歴史的な文化財を大切にしてください
- ・ 季節の花があると家族連れが多く訪れると思う
- ・ レンタサイクルがあるともっとゆっくり見て回れると思う
- ・ よかったがPRが足りない
- ・ 年配者に配慮した設備の増強を(ベンチなど)
- ・ バリアフリー化の促進を
- ・ 蔵造りの街並みを見るのに交通量が多くて怖かった
- ・ 蔵の街並みなど、時間制限をして歩行者天国にして欲しい
- ・ 大型バスの駐車場がもっと欲しい
- ・ 街の無料案内ガイドが欲しい
- ・ 国道16号線の目立つ場所に案内看板が必要
- ・ 駐車場の案内を道路からわかるようにして欲しい
- ・ トイレの場所がわかりにくい
- ・ 川越城の櫓を復元して欲しい
- ・ ポケットパークなどの拡充をして欲しい
- ・ おむつ替えや授乳できるところが欲しい
- ・ 子供連れで回れるコースがあるとよい
- ・ 人が多過ぎるのでゆっくり街を楽しめなかった
- ・ 郊外の方も賑やかにして欲しい

3. 観光消費額から見る経済効果

観光産業の特性については、消費者（観光客）が供給地（観光地）へ自ら訪れるために商品（観光資源）の流通コストがかからず、また、多岐に渡る経済活動（観光消費活動）を供給地内で起こすところから、供給地サイドの経済効果は非常に高いといわれている。

今回の観光アンケート調査では、「交通費」、「宿泊費」、「飲食費」、「入場料・入館料」、「お土産購入費」の観光消費に分類して聞き取り調査を行ったが、この5項目から、観光客がもたらす川越への経済効果がどの程度あるかを試算した。

各々の消費活動率、消費活動人数、平均消費額、消費総額は表6のとおりである。

平成17年の入込観光客数は494万8千人であったが、家族単位で訪れる時などは全員が消費活動を行うわけではなく、今回の調査結果からも家族単位で川越を訪れている観光客が多かったため（図9参照）、実際に消費活動を行う対象となる観光客数を200万人とし、この数値から消費活動率などを踏まえて以下の経済効果を試算した。

（表6）各観光消費の内訳

| 観光消費項目 | 消費活動率 | 消費活動人数 (人) | 平均消費額 (円) | 消費総額 (円) |
|---------|-------|---------------|--------------|---------------|
| 交通費 | 16% | 320,000 | 1,094 | 350,080,000 |
| 宿泊費 | 1% | 20,000 | 10,855 | 217,100,000 |
| 飲食費 | 74% | 1,480,000 | 1,596 | 2,362,080,000 |
| 入館料・入場料 | 30% | 600,000 | 531 | 318,600,000 |
| お土産購入費 | 73% | 1,460,000 | 2,438 | 3,559,480,000 |
| 計 | | 3,880,000 | | 6,807,340,000 |

消費活動率、平均消費額については2-3-12～2-3-16で詳述

消費活動人数は、消費活動を行う対象とした200万人の観光客数に、各々の消費活動率を乗じたもの

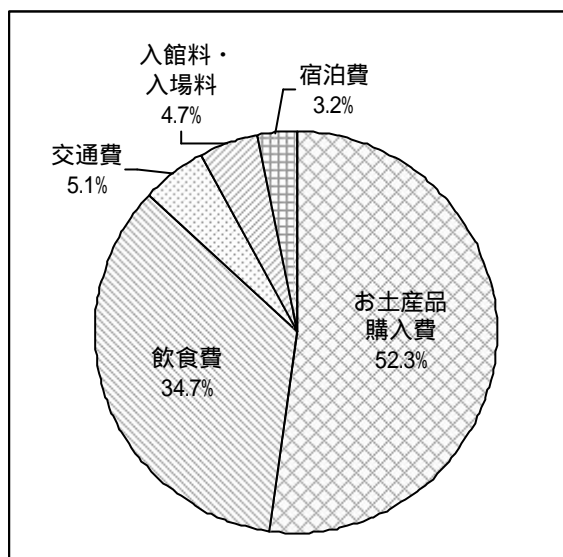
川越で200万人の観光客が消費活動を行ったことによる経済効果の試算は、約68億円となる。これは市や関連企業などによる資本投資（ ）や波及効果については加味していない。

項目ごとに見ると、「お土産購入費」が消費活動率、平均消費額共に高かったため、最も高い消費総額（約35.6億円）となった。

また、「宿泊費」については平均消費額こそ最も高かったが、消費活動率が最も低かったため、最も低い消費総額（約2.2億円）となった。

経済効果試算 68 億円における各消費総額の割合は図 29 のとおりである。
 「お土産品購入費」が約半分を占める結果となった。

(図 29) 経済効果試算 68 億円における各消費総額の割合



また、川越を訪れた日帰り観光客一人あたりの平均消費額は 3,244 円、宿泊観光客一人あたりの平均消費額は 17,611 円であった。

【参考】平成 16 年度 川越市経済部観光課

一般会計決算額（観光費）・・・・・・・・ 184,516,762 円

| このうち、観光関連団体への補助金・負担金 | |
|----------------------|--------------|
| 小江戸川越観光推進協議会負担金 | 38,500,000 円 |
| 川越まつり事業補助金 | 61,100,000 円 |
| 川越市囃子連合会補助金 | 1,660,000 円 |
| (社)小江戸川越観光協会補助金 | 36,500,000 円 |
| 家光公生誕 400 年記念事業負担金 | 5,500,000 円 |
| 小江戸サミット負担金 | 2,000,000 円 |
| (社)埼玉県観光連盟会員会費 | 78,000 円 |

川越市観光アンケート調査報告書 平成 17年（2005年）
平成 1 8 年 3 月

編集・発行

川越市経済部観光課

〒350-8601 川越市元町 1-3-1

TEL 049-224-8811

FAX 049-226-4102